

第1回 ワーキンググループ長会議結果	
日時	平成23年12月26日(月) 10:00~12:00
場所	亀岡市役所 3階 303会議室
出席者	<p>推進協議会 会長 人間環境大学環境教育センター特任教授 石田 紀郎  " 副会長 亀岡市自治会連合会会長 石田 武夫  " " 亀岡市桂川改修促進期成同盟委員長 古谷 弘志</p> <p>(水端かわまちづくりWG)  グループ長 京都学園大学ババ環境学部准教授 大西 信弘  副グループ長 保津町自治会会長 塚田 勇</p> <p>(ふれあいかわまちづくりWG)  グループ長 神戸大学大学院工学研究科教授 道奥 康治  副グループ長 篠町自治会会長 牧野 吉明</p> <p>(にぎわい拠点整備WG)  副グループ長 亀岡市観光協会事務局長 栗山 健</p> <p>(歴史・文化、自然再生WG)  グループ長 京都大学大学院アソアアソ地域研究研究科教授 岩田 明久</p> <p>(環境保全、情報発信WG)  グループ長 NPO法人プロジェクト保津川副代表理事 原田 禎夫  (欠席3名)</p> <p>(事務局)  亀岡市桂川・広域交通課 中井課長、柴田副参事、竹村主査  京都府南丹土木事務所河川砂防室 松崎室長、井尻副室長、  青木副主査、神原副主査  企画調整室 後田補佐  (順不同、敬称略)</p>
内容 (次第)	<p>1)開会  2)ワーキンググループの構成について  3)議事  ○各ワーキンググループの開催状況報告  ○意見交換(WG相互調整事項の確認等)  ○桂川クリーン大作戦への参加について  5)閉会</p>
結果	<p>○各ワーキンググループでの検討状況や課題等について意見交換するとともに情報共有を図る  ○高水敷の利活用については、これまでの検討委員会や意見交換会及びWGでの意見を踏まえ、  亀岡市において、各ゾーンごとの目的や方向性を整理した上で、具体的な利活用の素案を作成し検討を進めていく  ○保津川かわまちづくり推進協議会として桂川クリーン大作戦へ参加することとして、各構成  団体からの参加を要請する</p> <p>&lt;主な意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高水敷の利活用については、これまで出された様々な意見を踏まえ、亀岡市において関係課と調整しつつ具体的に検討して原案を示す時期にあるのではないかと。また、WG等で一定の検討が進んだ段階では亀岡市内外からの意見集約は必要であり、その方法はより幅広い意見が聴取できるよう工夫すべき。</li> <li>観光と地域、或いは世代によっても期待されているものが異なる部分があるが、観光では亀岡のどんな魅力を見せるのかということであり、それは歴史、文化、自然であると思う。</li> </ul>

- 身近に川や自然を感じ、ふれあうことのできる水辺空間づくりが重要。また魚類だけでなく野鳥の生息にも配慮が必要ではないか。
- 要望の多いグランドについては、高水敷であることや自然や景観との調和の観点から、こういうグランドもいいのではないかとといった提案が必要ではないか。
- いずれにしても、誰が（主体）がどのように（費用）管理していくかも含めた議論が必要
- 情報発信は一方通行ではなく双方向が重要であり、それが可能なシステムやツールとしていく必要がある。

